

個体と集団の基礎生物学(2)

差、社会構造、直立二足性、犬歯の退縮、道具使用、分娩、現代人の拡散・遺伝的多様性】

【履修要件】

スタート時点では高校レベルの生物学の知識は必須ではない。授業中必要になる知識については、授業内で適宜補足する。また、必要に応じて自学自習も求める。

【成績評価の方法・観点】

セメスター末に試験を実施して評価する。

【教科書】

使用しない

【参考書等】

(参考書)

戸部博・田村実『新しい植物分類学I・II』(講談社)

日本生態学会『生態学入門第2版』(東京化学同人)

ボイド・シルク『ヒトはどのように進化してきたか』(ミネルヴァ書房)

サダヴァ他『カラー図解アメリカ版大学生物学の教科書 第4巻進化生物学、第5巻生態学』(講談社)

その他、授業中に紹介する。

【授業外学修(予習・復習)等】

予習・復習として生物学の一般的教科書や各専門分野の入門書等を読むことが望ましい。また、授業内容や書籍の内容について、疑問点があれば、担当教員に質問すること。

【その他(オフィスアワー等)】

「細胞と分子の基礎生物学」とともに受講することで、現代の生物学全体を概観できる。

【主要授業科目(学部・学科名)】

理学部